

平成29年1月31日
社会システム研究科地域コミュニティ専攻
田村嘉之(2015M30004)

修士論文要旨

修論題目：農民の農業経営戦略と英知
ーインド西ベンガル州パンパラ南部集落の事例からー

本研究の目的は、インド西ベンガル州における調査を通じて、入植時期と出自の異なる3グループの農民が、いかなる農業経営戦略を持って社会の変動を乗り切ってきたのか、流通の視点を加えて明らかにすることである。

農村の経済活動を調査するには、農業の生産性だけでなく、農産物の流通や労働力の流動の視点も必要であると考え、主調査地での聞き取り調査を補強するための副調査地として、農産物の流通に関係する運輸会社、農村の溜池で淡水魚の捕獲を請け負う漁村、中農の農作業を支える農業労働者についての調査を行った。

第1章では、研究目的について記述する。主調査地では、農地の細分化と農産物の単収と増加によって、農民主体であった住民構成が徐々に変化している。カーストによって同じ名字を持つグループごとに、農業経営戦略の違いが見える。本研究の目的は、入植時期と出自の異なるそれら3グループの農民が、いかなる農業経営戦略を持って農業環境の変動を乗り切ってきたのかを、流通の視点を加えて明らかにすることである。

第2章においては、インドやインド周辺地域におけるこれまでの先行研究、またそれらの研究がどのような調査で行われたかを述べる。インドの農村社会については、これまで経済学、政治学、地理学、農学といった分野で多くの研究がなされてきた。その研究の多くは、広域的、統計的なものである。本稿では政治や経済などの既存の仕組み（社会構造）が人の生き方の戦略を決定するのではなく、個々人の生き方の戦略の多様性が、既存の仕組みの変革に寄与するという点について、具体的な事例をあげて指摘する。

第3章の調査地概要では、ベンガル地域とチャンダンナガル自治体、パンパラ南部集落について説明し、農地改革、「緑の革命」、「白い革命」、各農民グループ、農民の住居、カーストについての説明を行う。

第4章では、アルタラ地区パンパラ南部集落において行った調査データを記述する。パンパラ南部集落の概要を述べ、そこで生活している農民への聞き取り調査から得られた、彼らの生活状況から農業経営戦略に関連する内容を取り上げ、比較できるように整理する。

第5章では、農村における農産物の生産と密接な関係を持つ流通の視点から、運輸業者、漁村、卸売市場を取り上げ、まとめる。

第6章の分析では、農民の農業経営戦略を取り上げる。3グループの農業経営戦略とその違い、農民と指定カーストの関係、運輸業者や漁民の戦略を分析して、まとめる。さらにデベンドラナス・ゴッシュ氏のライフヒストリーを分析し、その臨機応変な対処法につ

いて、記述する。

第7章の考察では、デベンドラナス・ゴッシュ氏が、自身が変わりながらパンパラ南部集落を変えてきたことについて、述べる。

第8章の結論では、3グループの農業経営戦略の違いが、政治、経済、環境に影響される外的要因と文化や気質に影響される内的要因によること、内的要因にはグループごとの出自が関係していることを述べる。

データでとりあげる、3グループのうち、ゴッシュグループには、溜池を漁民へリースし、そのリース料で農地を拡大させたり、子弟に高等教育を受けさせ、高校教師になった子弟の給与で、自宅を改築している人もいる。また、パングループは、農地の均等分割から小農となり、苦しい農業経営になった。そして、サルカルグループは、共同相続や合同家族の形態で、効率のよい農業経営を行っている。中農の農作業は、集落外からの農業労働者に依存しているが、数年前から労働条件を軽くしても人が集まらないようになった。また子弟に高等教育を受けさせ給与所得がえられるようになると、農業の後継者不足に悩む状況にもなった。

次第に、デベンドラナス・ゴッシュ氏が、集落を変えるようになってきた。集落の人々からの呼びかけも敬語である（あんたは「トミ」だが、あなたの「アポナ」で呼びかけている）。デベンドラナス・ゴッシュ氏の実績は、「緑の革命」で稲の新品種に取り組んだこと、集落の内外における灌漑用水の調整を実施していること、化学肥料の銘柄と使用量に取り組んだこと、溜池で魚の養殖に取り組んだこと、耕耘機を使って費用対効果の結果を知らしめたこと、農業労働者と労働条件を折衝して改善していることなどである。パンパラ南部集落とデベンドラナス・ゴッシュ氏の間をみると、農村はけっして硬直した共同体ではないことが分かる。さらに農村とは経済、政治、環境、文化の力で、上から所与のものとして決まるものでもないし、また決まったものでもない。経済、政治、環境、文化に影響されつつも、その影響に埋没せずに対応し、新たな変化を生み出す一人の人間の英知とその影響力がある。ゆえに、統計的なマクロデータを見ただけでは、農村を理解したことにはならない。そうしたデベンドラナス・ゴッシュ氏の姿があった。

以上